

まち・ひと・しごと創生

伊賀市長と現役高校生との座談会

～25年後のあなたと伊賀市～

日時：平成27年10月3日（土） 10時00分から

場所：市役所 本庁舎2階 第2委員会室

まち・ひと・しごと創生とは

- ◇ 日本の人口は、子どもの数の減少などによって、現在の約1億2,000万人から50年後には8,600万人に減少すると予想されています。
- ◇ そこで国は、昨年11月に「まち・ひと・しごと創生法」という法律をつくり、日本の人口減少に歯止めをかけるための取組を進めています。
- ◇ 伊賀市の人口も、現在の約97,000人から、50年後には約53,000人に減少すると予想されていることから、これからもできるだけ多くの方が伊賀市に住んでいただき、伊賀市の人口を維持できるよう、目指すべき将来の方向や、必要な取組を検討しているところです。

「25年後のあなたと伊賀市」

将来の人口について、国や伊賀市では、2世代先を見据えた25年後（2040年）を大きな節目と位置づけており、活力あるまちをこれからも維持していくために、今後5年間に取り組むべきことをとりまとめているところです。

「25年後の伊賀市」を考えるにあたり、将来を担う若者世代の皆さんの率直な意見をお聞かせください。

1. 今の伊賀市について
2. 将来の私たちについて
3. 将来の伊賀市について

「伊賀市長と現役高校生による座談会」での主な意見等の概要

日 時：平成27年10月3日（土）10：00～

会 場：伊賀市役所2階 第2委員会室

参加者：13名

1 今の伊賀市について

○いいところ

- ・伊賀市はゆっくりのんびりできて、安心なまちだから好き。
- ・忍者屋敷はどんでん返しなども体験でき、外国の方を案内するのに最適。
- ・カフェめぐりが好き。ゆっくりできるカフェがある。
- ・ハイトピアへよく行くが、試験前などは競争率が高い。

○イマイチなところ

- ・遊ぶところがない。卒業したら都会へ出て行きたいという友人が多い。
- ・IT関係の仕事をしたいが、大学も就職先もない。
- ・市役所は移転せず、一部のスペースを交流の場にする等にしたらほうがよかったと思う。
- ・大型ショッピングモールがあるといい。
- ・図書館の閉館時間が早い。
- ・カラオケ店が少ない。

○よく出かけるところとその目的

- ・大阪（難波・心斎橋）、京都、名古屋、津、鈴鹿などへ出かける。
- ・服を買うときやおいしいご飯を食べに出かける。
- ・ボウリング・アミューズメント・カラオケ・スポーツ施設等の地域密着の屋内型複合レジャー施設へ遊びに行く。

○交通機関等について

- ・大阪や名古屋へ行く電車が不便で時間がかかる。
- ・どの交通手段も本数が少ない。
- ・高校生にとって伊賀鉄道や路線バスの運賃は高い。
- ・電車の接続が悪いので、駅周辺にコンビニエンスストアがあればいい。
- ・しらさぎバスは市全域へ広げてほしい。

○高校について

- ・相可高校の高校生レストランのように地域貢献できる高校があるといい。
- ・畜産系に進学したかったので、農業高校がなくなったときは残念だった。
- ・高校再編により、自分たちが選べる進路のバリエーションが減った。

2 自分たちの将来について

○高校卒業後

- ・家族と伊賀に残るという約束はしているが、あとは自分で考えたい。
- ・卒業後については、家族からは自由にしていっていいと言われている。
- ・伊賀地域の企業に就職が内定した。

○5年後の私たち

- ・大学で専攻したいことまでは決めているが、大学卒業後のことは分からない。
- ・大学も三重県内への通学を考えており、卒業後は都会ではなく、伊賀市に住みたい。結婚相手もこの街で探すか、大学のある町から連れてきたい。
- ・地元で就職したいが、希望するIT関連の企業がない。起業することも考えている。
- ・大学卒業後は家業を継ぎたい。
- ・伊賀市で就職し、このまちに住んで、町の祭り、伝統文化を継承していきたい。
- ・一度は都会へ出て一人暮らしをしてみたいが、また帰って来たい。
- ・大学へ進学を希望しているが、自然が好きなので、このまちにいたい。
- ・近畿地方の大学へ進学し、一人暮らしをしたいが、大学卒業後は戻ってきて、教師になって人権の活動に取り組みたい。
- ・今は、戻りたいとは思っていない。
- ・進学等で出て行ったとしても、伊賀には友達がいるから戻って来たい。

○25年後の私たち。どんな大人（父親、母親）になりたい？

- ・個性を引き立ててやりたい。
- ・子どもはほしいけど、具体的な母親像は描けていない。きれいなお母さんでいたい。
- ・25歳までに結婚して子育てをしながら仕事を続けたい。
- ・子どもにはやりたいことをやらせて、視野を広げてやりたい。
- ・子どもの服は自分で作って着せてやりたい。
- ・今は、結婚する気はないが、地域の子どもたちとの交流等には参加したい。
- ・趣味を極めるなど、熱中できることがあれば手助けをしたい。

○結婚や出会いについて

- ・「結婚する」ということがまだよく分かっていない。
- ・高校生までは出会いはあると思うが、就職すると難しいかもしれない。

- ・自然に出会えると思う。
- ・私たちの年代ではまだ早い、将来は合コン。
- ・学校内だけでなく、地域や他校との交流が必要。
- ・青年が活躍できる機会があれば出会いの場にもなる。
- ・LINE。
- ・最近では草食系男子と言われている。男子が女子化し、女子が男子化している。

3 将来の伊賀市

- ・学校で「伊賀市は第3子以降の保育料が無料になる。」と聞いた。子どもをたくさんほしいと考えている人たちにとって、いいことなのでそういう取り組みを進めてほしい。
- ・サッカーチームを作れるくらい、たくさん子どもがほしい。両親が共働きなので、自分が祖父母に育てられたこと、近所の人たちに見守られながら、遊んで育ったこともあり、地域全体で子どもの見守りができるようなまちであってほしい。
- ・親の定年後のことが心配。
- ・都会では隣近所に誰が住んでいるかも分からないらしいが、地域のつながりを大切にしていきたい。
- ・地域行事のもっと参画したいし、もっと活発になるといい。
- ・子どもは外で遊びたいので、芝生と遊具があるような公園がもっとほしい。
- ・バレーボールのクラブチームを作り、その活動に参画したい。
- ・今あるゆったりと過ごせる環境プラス遊ぶ施設（公園や複合型のレジャー施設）があると子どもたちは困らない。

4 その他

- ・文化会館にカフェをつくってほしい。
- ・図書館の開館時間を延長してほしい。
- ・ボランティアに参加したいので、広報等で積極的な情報提供をしてほしい。
- ・ボランティアに参加すれば、出会いの場所にもなる。
- ・図書館と点字図書館をひとつにできないか。